

第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書



令和3年8月20日

吉田町

はじめに

人口減少社会に向けた対策を示すため、令和2年2月に策定された、「第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に当たっては、重要業績評価指標（KPI）や施策の進捗、効果等について、吉田町行財政構造改革推進本部会議や吉田町総合計画等審議会等において、毎年度の評価を実施し、PDCAサイクルによる継続的な改善を実施することにより、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を図るものである。

1 第2期総合戦略の概要

(1) 取組の視点

第2期総合戦略の取組の視点として、国が示す「まち・ひと・しごと創生」政策5原則※に加え、「豊かで勢いのある町」を目指し、さらには心を魅了する「魅せるまちづくり」を独自の視点として取り組む。

※…自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視

(2) 人口減少社会に向けた戦略

自然減対策と社会減対策を両輪として人口減少に立ち向かうこととし、課題解決においては、質の向上を目指します。

(3) 目指す将来の方向

平成27年10月策定「吉田町人口ビジョン」では、3つの基本的な方向性を掲げています。

- 「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する
- 若い世代の子どもを持ちたいとするそれぞれの希望を叶える
- 本町で働き、住みたいとする希望を叶える

上記方向性から、5つの基本目標を設定し、人口減少社会を見据えた、地域づくりを進めていきます。

【基本目標】

- 1 「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する
- 2 本町における安定した雇用を創出する
- 3 本町への新しいひとの流れをつくる
- 4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 5 本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

2 評価の方法

(1) 総合戦略評価調書の作成

総合戦略に係るK P I（重要業績評価指標）の進捗状況を確認するため、各課において総合戦略評価調書を作成し、企画課において評価結果の取りまとめを行い、総合戦略評価結果報告書原案を作成しました。

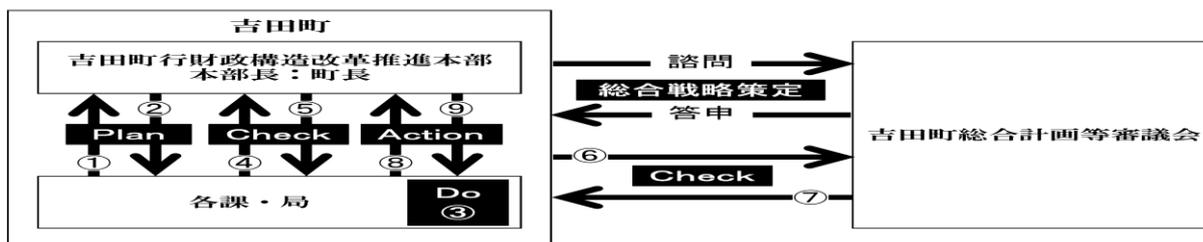
(2) 内部評価（吉田町行財政構造改革推進本部）

総合戦略評価結果報告書の原案について、庁内で共有するため、吉田町行財政構造改革推進本部を開催し、内部評価を行いました。

(3) 外部評価（吉田町総合計画等審議会）

総合戦略評価結果報告書の原案に示される主な目標の定量的評価に基づいて、外部評価を行います。

- ① 各施策の具体的な目標について「目指す方向に向かっているか」「向かっているまたは向かっていないと思う理由」など、方向性に対する意見をいただきます。
- ② 将来都市像の実現に向けて、「どのような取組を進めるべきか」「どのような方法で目標を達成すべきか」などの意見をいただきます。



3 K P Iの実績値に対する判定基準と進捗状況について

【定量的評価】

判定基準	評価	件数
令和2年度実績値が目標値を達成しているもの	A	14
令和2年度実績値が現状値（基準値）より改善したもの	B	11
令和2年度実績値が現状値（基準値）より改善していないもの	C	36
令和2年度実績値が確定していないもの	—	5

【定性的評価（方向性）】

方向性	説明	件数
継続	現状のまま継続するもの	63
見直し	K P Iを見直しするもの	1
完了	K P Iを達成し、施策が完了したもの	2

4 基本目標ごとの具体的な取組

○ 基本目標 1

「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する

【数値目標】

NO	項目	現状値 (基準値)	目標値 (令和6年度)
1-1	シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率	30%	69%
1-2	地域防災指導員の増員	50人	110人

【具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数（KPI）】

分野：災害防止対策の充実

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
防災機能を備えた多目的広場の整備	施設整備率	24.9%	100%	31.3%	B	継続	産業課
漁港施設等の耐震・耐津波強化	漁港施設等におけるL2地震及び津波に対応した施設整備計画の策定率	0%	100%	0%	C	継続	産業課
防潮堤の整備のための盛土材の確保（川尻工区）	防潮堤完成までの間、盛土材の確保率	40.6%	100%	100%	A	完了	防災課

分野：国土強靱化の取組推進

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
国土強靱化地域計画に基づく施策の推進（治山治水対策の推進）	住吉地区浸水対策計画の策定率	0%	100% (令和5年度末までに完成)	0%	C	継続	建設課

分野：地域防災力の強化

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
地域防災指導員養成講座の開催により指導員を増やす	地域防災指導員が2人以上いる自主防災会の割合	68%	100%	74%	B	継続	防災課

分野：消防団組織の充実

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
消防団協力事業 所表示制度登録 事業所数を増や すことにより団 員の環境改善を 図る	消防団協力事業 所登録事業所数	13 件	20 件	11 件	C	継続	防災課
女性消防団員の 増員による災害 啓発・予防活動 の充実を図る	災害啓発・予防 活動を行う女性 消防団員数	4 人	10 人	4 人	C	継続	防災課

○ 基本目標 2

本町における安定した雇用を創出する

【数値目標】

NO	項目	現状値 (基準値)	目標値 (令和6年度)
2-1	企業立地件数	6件 ※1	7件
2-2	雇用創出数	300人 ※2	350人
2-3	創業者数	15件/年	15件/年
2-4	新規漁業従事者数	16人 ※3	20人
2-5	インターンシップ参加者数(累計)	78人	150人

※1：平成27年度～令和元年度までの新規工場立地件数

※2：平成27年度～令和元年度までの新規工場立地による雇用者数

※3：平成27年度～令和元年度までの実績

【具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数（KPI）】

分野：企業誘致活動の強化

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
“ふじのくに” のフロンティア を拓く取組に係 る物資供給拠点 確保事業地内へ の商業施設誘致	商業施設誘致件 数(累計)	4件	5件	4件	C	継続	企画課
関係機関との連 携による企業誘 致用地の情報収 集と情報提供	企業立地相談件 数	10件/年	12件/年	23件/年	A	継続	産業課
企業への支援及 び雇用に対する 支援の強化	新規企業からの 補助金相談件数	9件/年	10件/年	8件/年	C	継続	産業課
	既存企業からの 補助金相談件数	6件/年	10件/年	5件/年	C	継続	産業課

分野：創業支援活動の強化

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
創業支援事業の 推進	創業支援センタ ー利用者数	1件/年	3件/年	2件/年	B	継続	産業課
	創業支援対象者 数	23件/年	30件/年	8件/年	C	継続	産業課

分野：水産業への支援の充実

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
新規漁業就業希望者への就業支援の充実	漁業就業相談件数	1件/年	5件/年	1件/年	C	継続	産業課

分野：企業や大学等との関わりの強化

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
産学官の連携強化	インターン先企業の開拓	32件/年	35件/年	35件/年	A	継続	産業課
大学等と連携した新商品・サービス開発の支援	大学等と連携した新商品等の開発（累計）	1件	2件	0件	C	継続	産業課

○ 基本目標 3

本町への新しいひとの流れをつくる

【数値目標】

NO	項目	現状値 (基準値)	目標値 (令和6年度)
3-1	観光交流客数	296,646人	500,000人

【具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数（KPI）】

分野：賑わい創出のための取組の強化

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
民間事業者との連携による「シーガーデンシティ構想」の推進	シーガーデンシティ構想への民間事業者の参画件数	0件	5件	7件	A	継続	企画課
民間事業者等による大規模イベント開催の支援	カムカム補助金対象イベント件数	3件	5件	0件	C	継続	企画課

分野：新たな観光スポットの創出

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
沿岸部に整備する海浜回廊や多目的広場などを新たな観光資源として活用	水産振興拠点の整備	0件	1件	0件	C	継続	産業課
展望台小山城周辺や吉田公園などの既存の観光資源の魅力向上	展望台小山城入場者数	14,018人	18,700人	10,343人	C	継続	産業課

分野：町の魅力情報発信強化

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
定住者や交流人口の増加に向けた効果的な町の魅力情報発信	転入超過人数 (社会動態)	+51人/年	+50人/年 以上	-15人/年	C	継続	企画課
情報発信における観光客への対応の強化	無料Wi-Fiスポットの設置数 (累計)	2箇所	10箇所	7箇所	B	継続	産業課
PRキャラクター「よし吉(きち)」を活用した町の魅力発信	着ぐるみ貸出によるPR件数	11件/年	12件/年	12件/年	A	継続	企画課

分野：定住促進支援事業の推進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
新築住宅取得の促進	新築住宅の着工戸数	112件/年	150件/年	101件/年	C	継続	企画課

分野：外国人対応力の強化

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
町内における滞在環境の充実	案内看板(多言語化)の設置数 (累計)	1箇所	3箇所	1箇所	C	継続	産業課

○ 基本目標 4

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

NO	項目	現状値 (基準値)	目標値 (令和6年度)
4-1	合計特殊出生率	1.73	2.07
4-2	児童生徒総数	2,439人	2,500人

【具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数（KPI）】

分野：結婚気運の醸成

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
出会いの場の創出	出会いの場の提供件数	1件/年	3件/年	0件/年	C	継続	産業課

分野：妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
妊娠から出産までの支援の充実を図るとともに、支援が必要な妊婦・子育て中の方を確実に把握し、正常な妊娠経過をたどることができるよう必要な継続支援を行う	支援ニーズが高い妊産婦への支援実施割合	100%	100%	100%	A	継続	健康づくり課
子育て支援・相談体制の充実	「みんなおいで」参加者数	0人/年	100人/年	0人/年	C	継続	こども未来課
	相談支援の研修への参加数	23回/年	30回/年	18回/年	C	継続	こども未来課
	子育て支援センター利用人数	8,734人/年	15,000人/年	7,479人/年	C	継続	こども未来課
	7か月児健康相談実施率	97%	100%	99.6%	B	継続	健康づくり課

分野：子育てしやすい環境の整備

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
育児の負担軽減	ファミリーサポートセンター会員数	101人	150人	111人	B	継続	こども未来課
	月齢児保育の充実	10人/年 (9か月児からの受入れ)	12人/年 (9か月児からの受入れ)	7人/年 (9か月児からの受入れ)	C	継続	こども未来課
	保育所の待機児童数	0人/年	0人/年 (現状維持)	0人/年	A	継続	こども未来課
子どもの居場所の整備、放課後子ども教室の拡充	放課後児童クラブの待機児童数	0人/年	0人/年 (現状維持)	0人/年	A	継続	こども未来課
	放課後子ども教室の設置	2箇所	3箇所	0箇所	C	継続	生涯学習課
企業・店舗を巻き込んだ子育てしやすい雰囲気の醸成	県の子育て優待カード協賛吉田町店舗数	53店舗	55店舗	50店舗	C	継続	こども未来課

分野：女性の活躍促進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
ワーク・ライフ・バランスの普及促進	静岡県「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体数	20件	25件	20件	C	継続	企画課
男性の家事への参加に向けての支援	イクメン講座の実施	1回/年	3回/年	0回/年	C	継続	こども未来課

分野：妊娠、出産について正しい知識の普及

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
中学生、新成人等又は妊婦自身に対し、結婚、妊娠、出産について正しい知識の普及	妊娠や出産に関する講座実施回数	11回/年	11回/年	0回/年	C	継続	こども未来課 健康づくり課
	育児に携わる機会への参加人数	74人/年	250人/年	0人/年	C	継続	こども未来課
不妊治療及び不育症治療についての情報提供と不妊治療及び不育症治療費助成事業の実施継続	母子健康手帳の交付数	218件/年	240件/年	203件/年	C	継続	健康づくり課

分野：産みやすい環境の整備

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
出産に伴う経済支援を行う	よしにこパッケージ助成制度を利用した産婦の割合	100%	100%	100%	A	継続	健康づくり課

分野：確かな学力の定着の促進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
吉田町教育元気物 TCP Triwins Plan の推進	全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数(2教科8科目)	小学校 /2科目 中学校 /0科目	小・中学校ともに全科目平均正答率以上を達成し、以後継続させる	未把握	—	継続	学校教育課
公設学習塾の充実	公設学習塾に通って、わからないことがわかるようになった児童生徒の割合	小学校 /94.62% 中学校 /83.82%	小学校 /100% 中学校 /100%	小学校 /91.7% 中学校 /100%	B	継続	学校教育課
ALT の全校配置による英語教育の充実	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う児童生徒の割合	小学校 /65.1% 中学校 /64.1%	小学校 /100% 中学校 /100%	未把握	—	継続	学校教育課

分野：魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
吉田町版「幼・保・小中のつながりのある教育」の充実	幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育を実施する園の割合	100%	100%	100%	A	継続	学校教育課
	幼児教育の充実に満足している割合	39.3%	80.0%	未把握	—	継続	学校教育課
	学校教育の充実に満足している割合	37.1%	80.0%	未把握	—	継続	学校教育課
ICT を活用した情報教育の充実	授業でコンピューターなどのICTをほぼ毎日使用した児童生徒の割合	小学校 /3.6% 中学校 /4.3%	小学校 /100% 中学校 /100%	未把握	—	継続	学校教育課
	学習者用コンピューター1台当たりの児童・生徒数	14.9人/台	1.0人/台	1.0人/台	A	完了	学校教育課

○ 基本目標 5

本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

【数値目標】

NO	項目	現状値 (基準値)	目標値 (令和6年度)
5-1	バスなどの公共交通の充実に住民が満足している割合	13.9%	20.0%
5-2	自立高齢者割合	86.3%	86.3% (現状維持)
5-3	介護予防の自主活動回数	674回	758回
5-4	地域住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数	396人/年	450人/年

【具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数（KPI）】

分野：都市基盤の整備

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
新たな公共交通システムの構築	吉田町地域公共交通網形成計画の策定	0	100% (令和3年度末)	30%	B	継続	企画課
路線バスの維持及び利便性の向上	町内を運行するバス路線数	4路線	4路線 (現状維持)	4路線	A	継続	企画課
	ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数	0件	1件	1件	A	継続	都市環境課

分野：魅力的な地域の形成

具体的施策	KPI	現状値 (基準値)	目標値	令和2年度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
東名高速吉田インターチェンジ周辺の整備	町内バス停の乗降者数	451,672人	474,200人	326,701人	C	継続	企画課

分野：健康づくりの推進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
特定健康診査・ 特定保健指導の 受診率向上と受 診しやすい体制 づくりを図る	国民健康保険被 保険者の特定健 康診査受診率	39.8%	60%	33.7%	C	継続	町民課
診療所数の現状 維持	内科診療所数	7箇所	7箇所 (現状維持)	7箇所	A	継続	健康づ くり課
自治会や各種団 体のイベントに おいて、保健協 力委員、健康づ くり食生活推進 協議会の自主活 動により、健康 課題に対する生 活習慣改善につ いて普及、啓発 し、無関心層に も働きかける健 康づくりの実施	地域のイベント で健康づくりに 関するコーナー を設けている数	8箇所	9箇所 以上	2箇所	C	継続	健康づ くり課
高齢者スポーツ 教室の開設	高齢者スポーツ 教室の参加者数	0人/年	80人/年	0人/年	C	継続	生涯 学習課

分野：高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
吉田町シニアカ レッジの充実	シニアカレッジ 受講者数（累 計）	31人	100人	29人	C	継続	生涯 学習課
自立した高齢者 の支援	高齢者人材活用 センターで活動 している高齢者 の人数	1,662人	2,000人	609人	C	見直し	福祉課
生涯現役人材バ ンク事業の推進	いきいきボラン ティア倶楽部に 登録し活動して いる高齢者の人 数	102人	150人	106人	B	継続	福祉課

分野：介護予防の推進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
介護予防に関する知識の普及、啓発の実施や地域における自主的な介護予防活動の支援	介護予防に資する通いの場の数	18箇所	25箇所	19箇所	B	継続	福祉課
介護予防に資する体操の普及	介護予防体操の実施回数	272回/年	1,860回/年	443回/年	B	継続	福祉課

分野：地域密着型介護サービスの充実

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
地域における介護サービスの充実	介護老人施設の入所待機者数	1人/年	0人/年	3人/年	C	継続	福祉課

分野：多文化共生の推進

具体的施策	K P I	現状値 (基準値)	目標値	令和2年 度実績	定量的 評価	定性的 評価	担当課
住民と外国人との交流の場を創出する	住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数	396人/年	450人/年	0人/年	C	継続	企画課